

当校の教育理念・目標

教育理念

子どもたちに、彼らが大人になって社会に出たとき、自ら考え、問題を解決し、自立した生活を営める基礎能力を自然に身につけさせること。さらに、国際社会に貢献できるコミュニケーション能力を自然に身につけさせること。という教育理念のもとに学校を運営いたしております。

設立理由

子どもたちは、大きくなってやがてビジネス社会に身をおきます。自営業・会社員を問わず、多くの場合、社会の荒波にもまれていくわけです。悲しいことに、リストラやいじめ、嫌がらせは日常茶飯事です。学校でのいじめなどが問題になっていますが、大人の社会がこのようなになっているのですから、当然の結果かもしれません。しかし、どうしても私たちは、先生方がどうしてよいのか手をこまねているように思えるのです。託児所・保育園・幼稚園からの時期に人間の性格や人格が形成されるわけですが、これらの施設の多くの教職員がビジネス社会を経験していない現実にも多くの問題があります。単に、資格のみをもっている常識しらずの先生も多いわけですが、たとえば、多くの保育園・幼稚園では、おやつ時間に、なにも言わず、子どもたちの前に食べ物・飲み物が置かれます。くにたちキッズでは、極端に言えば、どんな飲み物がほしいのか、クッキーが何枚ほしいのかを自分で言わなければ、なにも口にできません。これはひとつの例ですが、自ら考えることなしにいろいろなことを詰め込んでも、問題解決能力や独創性などという、ビジネス社会で不可欠な能力を養成することまでできません。紙の上だけの教育者ではなく、実ビジネス界を経験した教職員で構成される学校がほしい、この理由で私たちは、くにたちキッズを設立しました。

教育目標

将来、国際ビジネス社会で真に活躍できる子どもを育てます

自分の長所を活かし、仕事を楽しみ、他人を思いやり、広く社会に役立つ人間になってほしい。このためのポテンシャルづくりを幼児期にいかにおこなえるかが、私たちの最大のチャレンジです。このためにどうしても英語で世界の人たちと自在にコミュニケーションできることが必要です。生きた英語を楽しんで身につけるためには、英語を勉強として捕らえてはいけません。そのためには、環境とカリキュラムが非常に重要な要素だと考えられます。外国で生活しているようなわくわくする校舎施設、陽がさんさんと降り注ぐ園庭、ウッドデッキエリアすべてが、知らず知らずのうちに楽しんで英語を上達させる環境要素となっています。塾や英語教室のように、ビルの2階や地下教室では、楽しんで学ぶことは現実的に困難です。このような環境では、独創性も感受性も育ちにくいことは確実です。私たちにとって、環境とはこれほど重要なものなのです。この環境の中で、どれだけ安全で楽しいアクティビティを提供できるかが私たちの挑戦です。子どもたちが、大きくなったとき、「くにたちキッズで生活し、ほんとうによかった」と思ってもらえるよう願って、私たちは挑戦し続けます。

他人を尊敬し、異文化を理解できる子どもを育てます

人間はどんな人でも得意な分野、不得意な分野を持っています。他人を尊敬し、お互いの得意な分野を活かし協力して社会生活を営んでいくことは、たいへん重要なことです。いろいろな考え方やさまざまな文化を尊敬し、理解することで、平和で豊かな国際社会が築かれていくのです。他人の存在を認め、尊敬できるひとは、必ず周囲の人からも尊敬され、多大な協力を得ることができるものです。

自主性のある子どもを育てます

自分から考え、行動することは、ビジネス社会では不可欠な要素です。たとえば、運動し汗をかいた場合、自ら着替えようとするような環境をつくりたいと考えられています。自分で行動した場合、よくできたねといって褒めてあげますが、こうしなさいと叱るよりはるかに効果的です。

協調性のある元気で機敏な子どもを育てます

ビジネス社会では、協調性も重要な要素のひとつです。私たちは、特にスポーツを通じ、チームワークの重要性を体感させたいと考えています。運動神経向上やコツコツ努力するチャレンジ精神も養成するため、スポーツも安全で本格的なものである必要があります。私たちは、特にサッカー、テニス、水泳、ダンス、バレエ、マット運動に重点を置いて指導します。すべての種目は、男女を問わず経験させたいと考えています。女の子もサッカーを通じチームワークの重要性を知ることができますし、男の子もバレエを通じ、すばらしいバランス感覚を養うことができるからです。なお、東側屋外に人工芝の園庭を併設しています。夏には、南西側屋外の専用プールを利用して多くのアクティビティがおこなわれます。

他人を信用できる子どもを育てます

私たちは、おもちゃや道具をシェアしたり、共同でアートクラフトを行なうことで他人を信用することの重要性を教えます。他人を信用できる人間は、他人からも信用される人間です。信用できないことが多い物騒な世の中だからこそ、信用の重要性を伝えたいと考えます。人間はひとりでは生きられないものです。友達を信用・信頼し、助け合っものごとくに立ち向かう積極性を養いたいと思います。

自ら問題を見出し、解決する独創性のある子どもを育てます

すべてのアクティビティに対し、答えを最初に与えることはありません。子どもなりに自分で考え、トライし、評価していく。このプロセスを身につけることは、子どもたちの将来にとって非常に有意義です。

教育環境

くにたちキッズは英語で生活する空間を提供します

外資系企業の進出が著しいビジネス界では、英語でのコミュニケーションは当たり前のスキルになってきています。どんなに有名な大学を出ても、リストラされ職を得られない人々も多いのが現状です。本来は、単なるコミュニケーションの手段であるべき英語が、出世・昇進の道具になってきています。

残念なことに、英語さえできれば、食うに困らないというのが今の日本の嘆かわしい現状です。

私たちは、英語ができる子どもを育てるのではなく、英語圏で育った子どもと同レベルの、自然に英語を理解できる能力を彼らに授けたいと考えています。

子どもたちが、ビジネス社会へ出たときに、職業能力や信頼関係という実質的な力で正当な評価が与えられるべきと考えます。

少なくとも、英語ができないという理由でチャンスが与えられないということがあってはいけません。

英語は話せて当たり前、独創性・協調性・技術力といった本来の力でチャンスをつかんでほしいのです。

私たちは、体を動かし、楽しみながら知らず知らずのうちに英語でコミュニケーションできる子どもを育てます。私たちの学校は英語の塾ではありません。

異文化を自然に理解できる環境を提供します

現在、7カ国から100名の子どもたちが学校生活を楽しくしています。幼稚部では、40%を目標外国人枠として設定しています。子どもたちは、英語能力の習得のみでなく、ごく自然に異文化を楽しみ、体感していくことができます。

子どもの人権を尊重した環境を提供します

ビジネス社会では、他人を尊重し認めることも重要です。

このためにも、小さいころから、子ども自身も一個人として扱われる必要があります。

間違えてはいけないのは、子どもを甘やかすということではありません。たとえば、教室の壁にペンで落書きする子どもを叱るのではなく、ホワイトボードと一緒に絵を描いて楽しませることで、絵を描く場所を教えることができます。

子どもも、意思を持った一人の人間です。場合によって叱ることは必要ですが、どうしていけないのかという理由をわからせる努力を惜しんではいけません。叱られてばかりでビクビクしている子どもは、他人を思いやったりする余裕がなくなります。

食事を楽しむ環境を提供します

食事をみんなで楽しむことは、たいへん大切なことです。栄養のバランスがとれたおいしいものをみんなでワイワイ言いながら食べる、コミュニケーションの重要な場です。ふんだんに有機野菜を取り入れたできたての食事は、みんな楽しみです。

ある有名な幼稚園では、誰が早く食べ終わるかを競争させているという話を聞きます。信じられないほどい話です。

「おかわり！」と言って、お皿を差し出す子どもたちの笑顔は私たちのおおきな喜びのひとつです。

子どもに適度な自由度・選択肢を与えます

すべてをお膳立てする保護者のかたがいっぱいいますが、子どもを無気力化させるリスクがあります。過度のお教室通いは、受身の子どもをつくってしまいます。

何も与えられなければ、自ら遊びをつくりだす能力のない子どもになってしまいます。これでは、将来社会に出たときに、典型的な受身人間になってしまいます。私たちは、できるだけひのびと自由に遊べる環境を提供しています。

教職員は、エンターテイナーでなければなりません

いかに安全に子どもたちを楽しませるか、これが私たちの永遠の課題です。そのためにも、教職員はみんな優秀なエンターテイナーでなければなりません。

いやいやながらでは、なにも身につきません。時間の無駄です。楽しんだ思い出は、子どもたちの心深く刻み込まれていきます。

教室で教材のみから得た英語より、先生や友達と公園へセミ取りに行って体で覚えた英語のまうが、数段上の生きた言葉なわけです。

働くご家族を応援します

私たちは、働くご家族を応援したいと考えています。8:30-19:00までの早朝・延長プログラムを完備しています。また、給食の提供をおこなっています。

ご家族へのお願い

しつけは家庭で行なうのが基本と考えます

こちらの保育園・幼稚園では、どんなしつけをしていただけるのでしょうか？という質問をされる保護者のかたがいっぱいいますが、私たちは、基本的なしつけは家庭でおこなうものと考えています。

私たちは、家庭ではなかなかできない、スポーツ・音楽・アートといったいろいろなアクティビティーをより多く体験させることに注力しています。

健康管理は、保護者の方々の責任です

発熱、鼻水、目やに、などいつもと違う状態が見られたら、登園を控え、すぐに病院で診察をお願いします。もちろん、学校でも、子どもたちの健康状態を観察しますが、それぞれのご家庭でもお子様の健康状態に気を配ってほしいと思います。

子どもたちとの会話の時間をできるだけ多くとってください

ご家族のかたがたと子どもたちとのコミュニケーションは、子どもたちの人格形成に必要なものです。

学校では、先生やお友達からいろいろなことを教えられますが、また違った意味で家庭内から学ぶことも多くあります。お忙しいとは思いますが、子どもたちと双方向のコミュニケーションを楽しんでほしいと思います。もし、ご両親の長期出張など何か特別な事情がありましたら、遠慮なく学校までお知らせいただくと助かります。ご家族と学校がともに協力し、どのような場合でも子どもたちに最良の環境が与えられるようベストを尽くしましょう。